



やまなし

学校教育目標 「心豊かに学びを拓く実践人」
～人や自然を大切に、社会に学びを拓く児童の育成～

令和6年1月31日発行

児童数 128 名

(1月31日現在)

四街道市旭ヶ丘 1-9-12

電話 043-432-0506

FAX 043-432-7344

逞しく生きていく力、人を支えられる力

校長 原田 裕章

先日の1月20日に大寒を過ぎ、まもなく立春を迎える時期となりました。

大寒とは、季節の指標である「二十四節気」の24番目の節気となります。「最も寒さが厳しい時期」という意味で、2025年は1月20日です。1年の最低気温も大寒の期間に記録されることが多く、まさしく冬の最後の山場です。しかし、この時期はただ寒いだけでなく、寒さの中にも少しずつ春の気配を感じるようになります。「三寒四温」という言葉があるように、寒い日が3日続くとその後の4日は暖くなり、寒暖を繰り返しながら徐々に暖かくなっていきます。大寒の次は「立春」で、暦の上で春になります。

さて、1月は、地域の方のご協力をいただいたおかげで、本校の低学年の体験的な学習をたくさん行うことが出来ました。21日に1年生は旭中学校区福祉協議会の方のご協力で、生活科の「昔あそびの会」を行いました。昔の子供が使っていた遊び道具「竹とんぼ、コマ、紙ふうせん、けん玉、お手玉」等を丁寧に教えていただき、1年生は大喜びでした。夢中で体全体を動かしながら、1回1回やり方を工夫して遊ぶ子供たちの様子を見ると、この「昔あそび」は、子供たちの心と体の成長にとっても適していると感じました。

また、16日と24日の2日間、4年生は福祉学習を行いました。16日は、旭中学校区福祉協議会を中心とする方々のご協力で「車いす体験」をやり、24日は、県の介護キャラバン隊のご協力で、体の不自由な状態を再現して体験する「福祉体験会」を行いました。体験学習の説明の中で「平均寿命」という言葉が出ました。4年生の子供たちにこの言葉について聞いてみると「知ってます」とみんな答えてくれましたが、似た言葉の「健康寿命」について聞くと、ほとんどの子が知りませんでした。ご承知のように、健康寿命とは生活に制限のない健康的な状態の限界年齢です。2024年現在ではおよそ、平均寿命は男性が81歳、女性が87歳、平均健康寿命は男性が73歳、女性が76歳との情報があります。「寿命 - 健康寿命 = 」の引き算をすると、平均的に男性は8年間、女性は11年間、健康ではなく「何らかの制限がある生活」をするかもしれない可能性があります。そして、特にこの期間に、車いす上の生活であったり、体の不自由を感じながらの生活となったりすること、場合によっては考えられます。こんな話を4年生に伝え、もし、この「何らかの制限がある生活」に、遠い将来、家族や自分が直面したら、どのようにすると良いのかを考えながら、体験をしてみてほしいという話がありました。子供たちはよく理解し、真剣に体験をしていました。子供たちが将来、どんな困難に直面しても、逞しく生きていく力を備えるため、また、困難が生じている人を側で支えるためにも、とても良い経験になったのではないのでしょうか。

これらの体験的な学習を、未来を生きていく子供たちに経験させることができるのは、地域の皆さまの日々のご協力のおかげです。本当にありがとうございます。

まだまだ寒い日が続きますので、保護者の皆さま、地域の皆さま、ご家族とともに体調にくれぐれもご留意いただきますよう、どうかよろしくお願いいたします。

<授業参観について>

今年度最後の授業参観は、2月22日(土)に行います。学年のまとめとして、各学年、教科や総合的な学習の時間で学習したことについて発表会等を行います。この一年の成長をご覧ください。また、今年は「旭ヶ丘自治会青年部」のご協力で「太鼓クラブ」の指導をしていただいております。クラブ活動の発表もあり、学年問わず参観できます。

○クラブ発表 (13:00~13:30)

○授業参観 5校時(13:40~13:25) 下校14:40

※この日は特別日課となります。時程は山梨カレンダーをご覧ください。

※学習内容・活動場所につきましては、授業参観が近くなりましたらお知らせいたします。



<県標準学力検査について>

・2月18日(火) 国語、理科

・2月19日(水) 算数、社会、英語(5・6年のみ)

※1・2年生は国語と算数の2教科



上記日程にて学力検査を行います。現学年での学習内容がどれだけ定着しているかを図るとともに、学校としても結果を分析し、今後の指導方法の工夫改善に努めていきます。学年での学習内容が全ての範囲となり、基礎基本から応用まで幅広く出題されます。各教科50問程度を約40分で解いていきます。テスト結果につきましては、後日個票を配付しますのでご確認ください。

上記のQRコードを読み込むと「ちばっ子チャレンジ100」のページにとびます。「ちばっ子チャレンジ100」は、小学校の国語、算数、理科(小3~6)における基礎・基本の定着や思考力、判断力、表現力等を高められるよう千葉県教育委員会が作成した問題です。ダウンロードをして、チャレンジしてみるといいですね。山梨小のホームページにもリンクが貼ってあります。

<交通ルールの再確認をおねがいします>

冬季は朝日が低く、車の運転手も運転しづらい状況です。青信号だから大丈夫だと思っても、きちんと左右を確認してから渡りましょう。下校後、中央公園等に遊びに行く時にも、左右を確認してきちんと横断歩道を渡りましょう。放課後は自転車に乗ることも多いと思います。中央公園周辺は学校側の道路に向かって低くなっており、スピードが出やすくなっています。散歩等で歩いている人もたくさんいます。自転車に乗っているときは「車両」とみなされ、加害者になってしまう可能性もありますので、自転車の乗り方には十分気をつけて、スピードを出し過ぎないように乗りましょう。



<お金の使い方、ご家庭で話してみませんか?>

1月はお正月にお年玉をもらって、子供たちにとってみると大金を得ることができる時期です。そのお金の管理はどうしていますか?コンビニ等で小学生が1万円という大金を持って、自分の好きなものを買物にくるという話を数件聞きました。「えっ、小学生で1万円?」と思うか、「お金の勉強のためにはよいのでは?」と思うかは、ご家庭次第だと思います。しかし、成人年齢が18歳に引き下げられたこともあり、小学生から「お金」について、ご家庭で話すのは早くはないと思われます。

小学生のうちはお金の基礎を教えることができれば十分です。次の4つのポイントについてご家庭で話してみたいかがででしょうか。

①お金はありがたい対価であること

②お金の使い方と貯め方

③貸し借りをしないこと

④何事も相談すること